

「飲酒運転ゼロへの啓発活動」に参加

～福岡県民が飲酒運転撲滅を考える一日～

日本損害保険協会 九州・沖縄支部(委員長：千葉 岳央 三井住友海上火災保険株式会社 常務執行役員)は、「飲酒運転『ゼロ』」への啓発活動に参加しました。

福岡県では、2006年8月25日に発生した飲酒運転が原因となる交通事故で、3人の幼い子どもが犠牲になった痛ましい事故を風化させず、飲酒運転撲滅の誓いを新たにするとして毎月25日を「飲酒運転撲滅の日」としています。また、毎年8月25日(月)から31日(日)を「飲酒運転撲滅週間」と定め、今年も北九州市八幡西区の”黒崎ひびしんホール”での「飲酒運転撲滅県民大会」をはじめ、県内各所でさまざまな啓発活動が実施されました。

当協会が協賛している「TEAM ZERO FUKUOKA」(※)では、8月20日(水)に福岡市内でイベント「飲酒運転撲滅の誓い 2025」を行いました。事故発生から19年が経過し、事故を知らない世代も多くなっていることから、若い世代をメインターゲットとした啓発活動を実施しています。

イベント当日は、飲酒運転撲滅をテーマに高校生が書道やコーラス、チアリーディングのパフォーマンスを行い、来場者に飲酒運転ゼロへ向けたそれぞれの想いを伝えました。福岡県では「飲酒運転を目撃したら110番」が条例で義務付けられていることから、福岡県警察による模擬通報訓練も行われました。また、新聞紙面や啓発ポスターとして利用する「飲酒運転はしない、させない、許さない。そして、見逃さない」の思いを込めたハンドスタンプ(手形)の作成を来場者に呼びかける等、福岡県民がイベントを通じて「飲酒運転撲滅」を考える一日となりました。

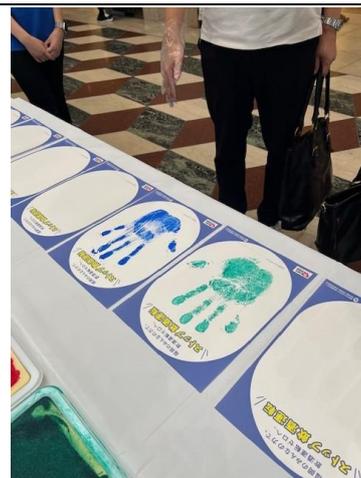
当支部では今後も行政や関係団体と連携し、飲酒運転ゼロに向けた啓発活動を行っていきます。

※ TEAM ZERO FUKUOKA

- ・2006年に福岡市の海の中道大橋で発生した飲酒運転により、3人の幼い子どもが亡くなった事故から5年後の2011年8月25日に、福岡県、福岡県警察、福岡市等の行政や企業、団体などが協力し、スタートした飲酒運転撲滅活動。
- ・地元の西日本新聞の紙面を通じた呼びかけや啓発イベントの実施など、飲酒運転ゼロ(撲滅)に向けた啓発活動に取り組んでいる。



当日のプログラム



ハンドスタンププロジェクト